

	事業	担当課	事業概要	進捗管理指標
基本的な方向性1	施策 (1)-①生活環境に配慮した学習支援			
	子どもの学習・生活支援「ほっとも」	セーフティネットコールセンター	貧困の連鎖を断ち切るため、生活困窮世帯や生活保護世帯の小学生・中学生・高校生に対し、安心して通える居場所の提供、社会生活の訓練、学習支援を実施する。	参加者延べ件数
	地域学校協働活動	教育指導課	地域の人々が学校運営を支援する「地域学校協働活動本部」の設置を支援し、地域全体で子どもたちを育む環境を整備する。 学校の依頼と地域のボランティアをつなぐ役割のコーディネーターを各校に配置して、学習支援・環境整備・登下校の見守り・行事の支援・放課後の学習支援（一部の小・中学校）などを実施する。	設置校数 活動実施日数
	家庭訪問の実施	教育指導課	家庭訪問の実施	実施率
	施策 (1)-②学習意欲の経済的な面からの支援			
	受験生チャレンジ支援貸付事業	セーフティネットコールセンター	中学3年生、高校3年生、またはそれらに準ずるものについて、無利子で塾代等及び受験料の貸付を行う。入学後等に所定の手続きをすれば返済が免除になる。	延べ相談件数 延べ申請件数
	施策 (2)-①子どもたちの心を支える環境の充実			
	コミュニティ・スクール運営事業	教育指導課	地域・保護者が学校運営の当事者となり、共通の目標をもって教育活動を展開できるよう、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を全小中学校に設置・運営する。	学校運営協議会を設置した市立学校の数
	スクールソーシャルワーカー(SSW)	発達・教育支援課	不登校やいじめ、経済的困窮や養育困難など健全育成上課題を抱える児童生徒及びその家庭に対し、学校からの依頼により、スクールソーシャルワーカー（SSW）を派遣し、教育・生活環境の改善を図る。	配置率
	施策 (2)-②遊びや社会体験、文化に触れる学習の提供			
地域の催し等へ参加する際に多文化共生参加や地域の多様な主体と交流する機会の増大	ふるさと文化財課	子ども向け事業の実施 ・学校や子どもたちに向けて、地域の歴史・文化を理解するための情報を提供する。 ・小中学生を対象とした展示の実施と、学校への事業の周知。 ・小中学生を対象とした（もしくは参加可能な）講演会、体験学習会の実施。	実施事業数・参加者数	
様々な体験を聞いたり、文化に触れる場の提供	生涯学習支援課 (中央公民館含む)	・親子で地域交流を体験できる事業 ・地域住民と協働した子ども居場所となる事業 ・子ども向けの講座・事業 ・公民館空き部屋の学習支援開放	事業数・講座数	
基本的な方向性2	施策 (1)-①食習慣の改善、食事提供等の支援			
	食育推進会議の開催	健康課	家庭・学校・地域などでの食育の推進（健康・食習慣、豊かな心の育成支援、第5期食育推進計画に沿った拡充）	食育推進会議の開催回数
	子ども食堂への支援	子育て課	地域の子どもやその保護者が気軽に集まり、無料または安い料金で食事を楽しみながら交流できる子ども食堂を運営している団体を支援し、活動を充実させて続けられるようにする。 子ども食堂が支援を必要とする子どもや家庭を適切な相談・支援機関につなげるきっかけの場となるよう、引き続き運営団体と連携する。	子ども食堂数 協議中
	施策 (1)-②健診結果等による気づきと情報共有による支援			
	乳幼児歯科健診結果の情報活用	健康課	乳幼児健診時にむし歯がある子どもに対し歯科受診の支援と受診確認	乳幼児健診時にむし歯がある（かかりつけ歯科医を持っていない）子どもに対し歯科受診勧奨と受診確認をした人数
	施策 (1)-③生活習慣等の定期的な把握			
	ファミリー・アテンダント事業	福祉政策課 子ども家庭支援センター	・見守りアテンダント 民生委員・児童委員が赤ちゃんのいる家庭を訪問して育児支援品を配布する。【福祉政策課】 ・寄り添いアテンダント 研修を受けたボランティアが子育て世帯を訪問し、傾聴や寄り添い支援を行う。【子ども家庭支援センター】	寄り添いアテンダント数 協議中
施策 (2)-①子どもと親が安心できる居場所環境の充実				
(再掲)子どもの学習・生活支援「ほっとも」	セーフティネットコールセンター	保護者以外の信頼できる大人の見守りがある、子どもが安心して過ごすことのできる居場所づくり	参加率	

	中高生世代スペース事業	子ども家庭支援センター	保護者以外の信頼できる大人の見守りがある、子どもが安心して過ごすことのできる居場所づくり ・義務教育終了後の継続した支援（相談・居場所・学習） ・小中高生の支援（ほっともの充実）	参加者数
	施策 (2)-②子どもと親の相談機能の充実			
	『子ども包括支援センターにおける「総合相談窓口：子どもなんでも相談」』の設置	子ども家庭支援センター	みらいくオープンに合わせて、子育て相談はもちろんのこと、子ども自身からの相談の受け入れ先を広げ、関係機関との連携を強化する。	子ども・親向け相談件数
協議中	子ども家庭総合相談・子育て相談・子どもの虐待相談	子ども家庭支援センター	子どもと家庭に関する総合相談窓口機能を有し、児童虐待、障害、非行、育成、母と子の健康など、様々な相談を受けている。	協議中
	施策 (1)-①家庭の自立に向けた支援の充実			
基本的方向性3	女性しごと応援キャラバン（しごとセンター多摩共催）	平和と人権課	自分の強みを見つけて、自信を持って就職活動していただくよう女性のための就職支援イベントを開催する。	参加者数
	子育てしながら再就職を目指す方のためのPC講座（ハローワークマザーズコーナー共催）	平和と人権課	就職活動に必要なパソコンの基礎操作を学び、女性の再就職を支援する講座を開催する。	参加者数
	家計改善支援業務	セーフティネットコールセンター	家計収支管理等に関する相談支援の充実	支援延べ件数
	就労準備支援事業	セーフティネットコールセンター	若者（中退者・ニート・フリーター等）に対する就労支援員の活用、就労支援の強化（日野市障害者生活支援センターくらしごと、ハローワーク八王子、ナイスワーク高幡、しごとセンター多摩、市内企業、関係機関等との連携）	支援延べ件数
施策 (2)-①公的制度による適正な支援				
	就学援助制度	庶務課	日野市要保護及び準要保護児童生徒援助費の支給	利用率(全児童生徒に対する認定者の割合)
	生理用品の無料配布と全市立小中学校のトイレに生理用品を配備	セーフティネットコールセンター 庶務課	市役所庁舎内・子ども家庭支援センター・児童館・子育て応援施設・フードパントリーでの生理用品の無償配布と学校における生理用品の配備	配布数
基本的方向性4	施策 (1)-①子育てに関する親の精神的な不安の緩和			
	親子関係形成支援事業	子ども家庭支援センター	親の子育て力向上支援講座の充実	参加者数
	民生委員・児童委員の活動支援及び行政との連携	福祉政策課	セーフティネットコールセンターとの連携による、民生・児童委員の会長会における子どもの貧困に対する市の取組状況の説明。 民生・児童委員の日頃の活動の中で、子どもの貧困に対するアンテナを高く持てるように、セーフティネットコールセンターと連携を図り、情報交換を密に行う。	主任児童委員の配置率
	子育てパートナー事業	子ども家庭支援センター	子育てパートナー事業の充実（会員拡大）・周知の工夫	子育て支援者養成講座参加者数
	ファミリー・サポート・センター事業	子ども家庭支援センター	ファミリー・サポート・センター事業（育児支援）の普及啓発	延べ支援件数
	新生児訪問・乳児家庭全戸訪問	子ども家庭支援センター	乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問）、産前産後ケア、育児支援家庭訪問の充実（困難者の早期発見・支援の仕組みの構築）	実施率
	プレママ（妊婦）&乳幼児健康相談事業	子ども家庭支援センター	プレママ（妊婦）&乳幼児健康相談事業による子育て不安緩和	利用者数
	育児支援家庭訪問事業	子ども家庭支援センター	育児支援家庭訪問の充実（困難者の早期発見・支援の仕組みの構築）	利用者数
施策 (2)-①安心して子育てができる環境の整備				

		ショートステイ事業	子ども家庭支援センター	家庭における子どもの養育が様々な事情で困難となった場合に宿泊を伴って一時的に子どもを預かる事業	利用者数	
	協議中		子ども家庭支援センター	残業等で保護者の帰宅が夜間にわたり一時的に子どもの保育ができない場合に夕方から夜まで預かる事業	協議中	
			トワイライトステイ事業	子ども家庭支援センター	育児疲れ、通院、出産等の理由により、乳幼児を一時的に預かる事業	延べ利用者数
		「ひのっ子若者みらいプラン」に基づく待機児童解消、多様なニーズへの対応に向けた保育施設整備の実施	保育課	(1)施設の空き情報について、HPへの掲載及び申込者への窓口相談時に情報提供を行う。 (2)保育需要の今後の動向を踏まえながら、施設整備や利用定員の弾力化など必要な対応を検討。	待機児童数	
施策 (2)-②住宅支援の強化						
		あんしん住まいる日野（日野市居住支援協議会・住宅セーフティネット相談事業）	都市計画課	生活困窮世帯・ひとり親家庭等への民間賃貸住宅への入居支援 (1)居住支援協議会の開催 (2)日野市居住支援協議会・住宅セーフティネット相談事業の実施	協議会開催回数 生活困窮世帯・ひとり親家庭等の相談者数	
基本的方向性5	施策 (1)-①全ての子どもに支援が届く情報発信と啓発					
		貧困に対する支援情報等を学校や各種施設等を通じて、全ての子どもへ提供	セーフティネットコールセンター	市民に対する貧困対策に関する基本方針及び施策に関する周知及び啓発	配布数	
		子育てモバイルサービス「ほけっとなび」	子ども家庭支援センター	子育てに関わる様々な情報を、様々な方法で発信し、子育て世帯や子育てに携わる機関、支援者等の情報収集・サービス利用に役立ててもらおう。	アクセス数	
	施策 (2)-①地域活動を通じた連携体制の強化					
	協議中	子どもの居場所づくりに関心のある団体等が連携し、情報を共有する場づくり	子育て課	子どもの居場所づくりに関心のある団体等が連携し、情報を共有する場をつくるため、国の動向等にも注視しながら関係部署や団体等と検討を行う。	居場所づくりに 協議中 等の情報を共有 こども食堂：市内22か所 プレーパーク：市内3か所	
	施策 (2)-②支援を要する子どもや家庭の情報集約と連携					
		ヤングケアラー支援	福祉政策課	・検討会議を開催し、支援策の検討を行った。 ・令和4年度に、市内小中学校（小6～中3）を対象とした実態調査を実施した。 ・令和5年度に「日野市ヤングケアラー支援のための基本的な考え方」を策定した。 ・令和6年4月にヤングケアラーコーディネーターを配置した。	市民の認知度・関係機関の認知度	
		子どもオンブズパーソン	関係各課	子どもを権利侵害から救済する公的な第三者機関として、独立した公正・中立な立場で、いじめや差別などの子どもの権利に関する相談に応じ、問題を解決するための救済活動を行う。具体的には、解決方法の助言をしたり、子どもの代弁者となって、関係する大人と建設的な話し合いをしながら子どもの最善の利益を考え、子どもに寄り添いながら一緒に問題解決を図る。	市民の認知度・関係機関の認知度	
	施策 (2)-③関係職員の気づきを促す研修の実施					
		子どもの貧困に関する職員研修	セーフティネットコールセンター職員課	職員に対する貧困対策・自立支援に関する研修の実施（気づきと連携意識）	参加者数	